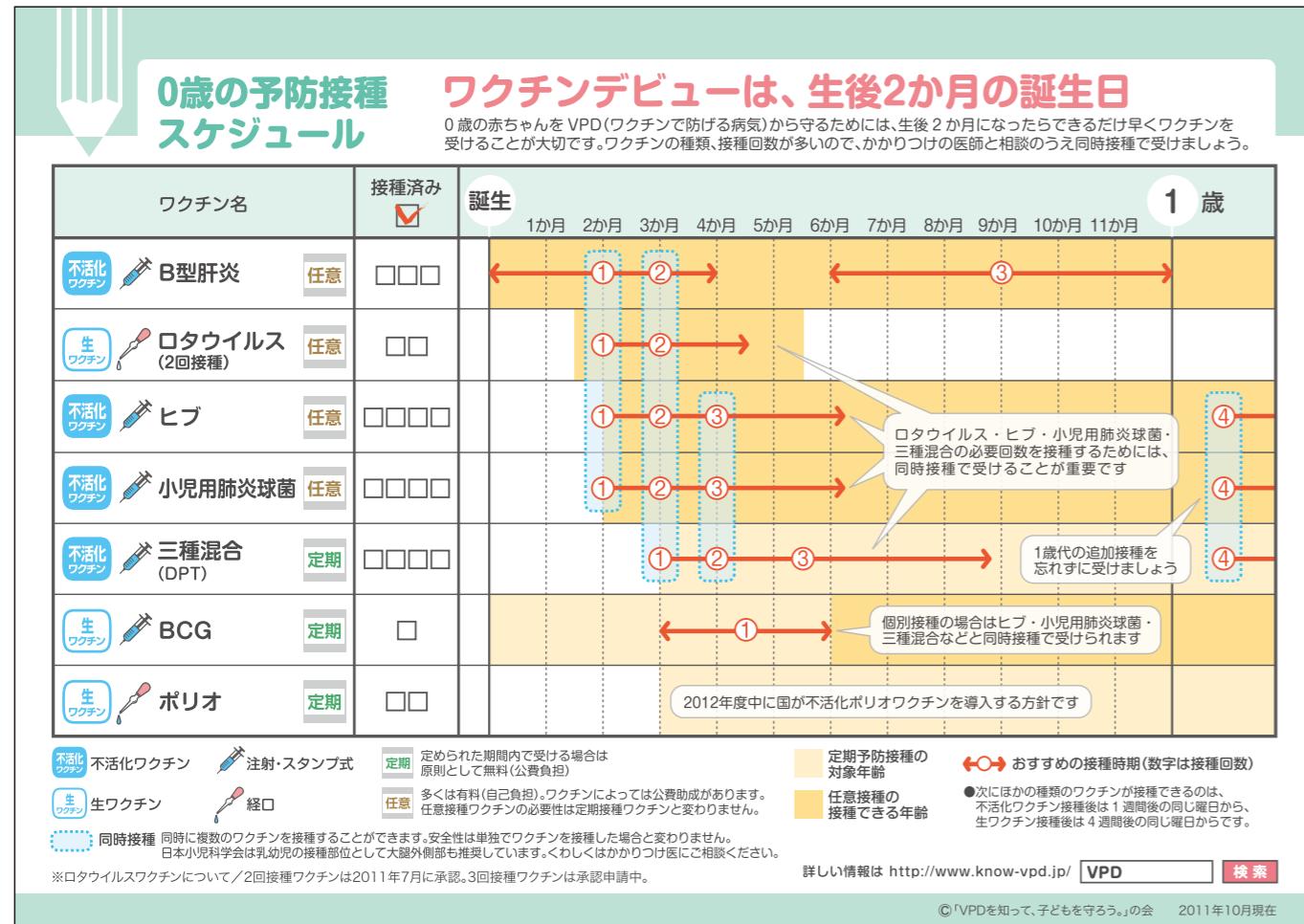




Topics

「VPDを知って、子どもを守ろう。」の会おすすめ 予防接種スケジュール 『ワクチンデビューは、生後2か月の誕生日』 スタートダッシュが肝心です

2011年7月に乳幼児の下痢症の原因であるロタウイルスを予防するワクチン(2回接種)が承認され、日本でも使用できるようになりました。それにより0歳児が接種するワクチンは7種類、接種回数は17回にもなります。「VPDを知って、子どもを守ろう。」の会では、おすすめ予防接種スケジュールを改訂し、**もっと早く、確実に必要な免疫をつけるためのスケジュール**を提案しています。



ワクチンの目的はVPDの予防です。VPDにかかる前に接種しなければ意味がありません。さらにいえば、VPDにかかりやすい時期になる前に、あらかじめワクチンで十分な免疫をつけておくことが大切です。

とくに乳児は感染症に対する免疫が未発達のため、感染症にかかると重症化しやすく入院が必要になったり、命にかかわったりする場合があります。そうならないためには、必要なワクチンをできるだけ早く接種することが大切です。

0歳児が接種するワクチンには生後2か月になる前に接種できるものもありますが、全体のスケジュールや病気にかかるリスクを考えると『ワクチンデビューは、生後2か月の誕生日』を合言葉にすすめたいけがよいでしょう。

もうひとつ、最も早く免疫をつけるために重要なのが、“同時接種”です。生後6か月までに受けたいワクチンは6種類(接種回数は14回)もあります。多数のワクチンを1本ずつ受けている場合は接種が遅れがちになります。確実にVPDを予防することができなくなってしまいます。その

ため、当会では、**もっと早く免疫をつけるために同時接種を推奨**しています。

世界中の小児科医が同時接種を実施しているのは、予防接種スケジュールが簡単になり、接種忘れなどがなくなる(接種率があがる)だけでなく、早く免疫をつけるというワクチン本来の目的を果たすためには必要だからです。同時接種で受ける場合、本数や組み合わせの制限はありません。

具体的には、**生後2か月に、ヒブ、小児用肺炎球菌、ロタウイルス、B型肝炎の4種類の同時接種**はじめます。ヒブと小児用肺炎球菌ワクチンで予防する細菌性髄膜炎は生後6か月を過ぎるとかかる子どもが増えてきます。そのため、生後6か月になる前に初回3回の接種を済ませておくことが大切です。2回接種のロタウイルスワクチンは、生後24週までに2回接種を完了させなければならず、生後21週を過ぎるとワクチン接種を受けられません。B型肝炎は母子感染の心配がないお子さんであれば生後2か月の接種をおすすめします。

生後3か月には、この4種類に三種混合(DPT)ワクチンを加えた5種類を同時接種で受けます。

BCGが個別接種なら、4か月でヒブ、小児用肺炎球菌、三種混合(DPT)とともにBCGを同時接種で受けます。BCGが集団接種なら、三種混合を2回受けながらBCGを接種します。これは、流行している百日咳を優先して予防するためですが、BCGは生後6か月になると定期接種で受けられなくなってしまいますので、4か月のうちに接種しておくと安心です。

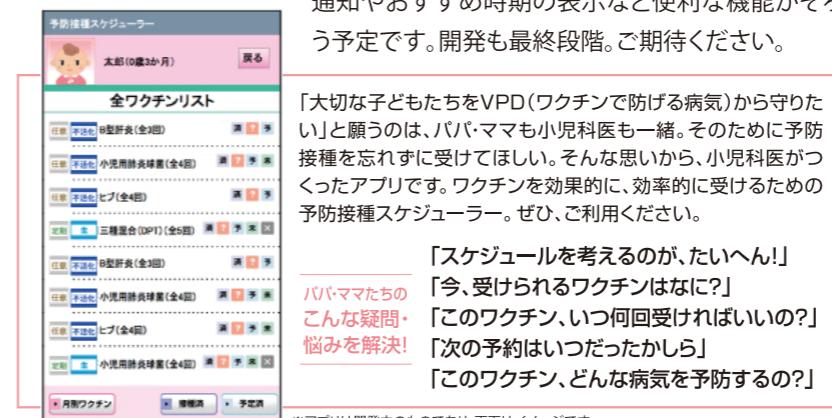
BCGやロタウイルスワクチンなどの**生ワクチンは、次にほかのワクチンを接種するまでに4週間の接種間隔**が必要です。スケジュールをたてるときには、生ワクチンと不活化ワクチンの接種順位に注意しましょう。また、ポリオは流行していませんので**集団接種の生ポリオ**

ワクチンは、三種混合(DPT)の3回接種がおわってから受けましょう。

今回の改訂スケジュールは、もっと早く免疫をつけるために同時接種を前提としたスケジュールです。実際には、生後2か月からはじめられない場合や体調を崩して予定通りにすまないこともあります。そのような場合でもそれぞれのワクチンをできるだけ早く、同時接種で受けるようにしておけば、VPDの予防が可能になります。**最終的には、保護者とかかりつけ医が相談のうえ**、お子さんが早く、確実に免疫を獲得するスケジュールをたてましょう。

予防接種スケジューラーアプリを開発、近日公開!

このたび、予防接種を忘れずに受けるためのアプリを「VPDを知って、子どもを守ろう。」の会が開発。ワクチンごとの「予定」「接種」などの記録や接種予定日の通知やおすすめ時期の表示など便利な機能がそろった予定です。開発も最終段階。ご期待ください。



「ワクチンデビューは、生後2か月の誕生日」バナー制作

予防接種スケジュールの改訂にあわせて、各医療機関などのホームページでも予防接種の早期開始を啓発できるよう『ワクチンデビューは、生後2か月の誕生日』のバナーを作成しました。くわしくは『KNOW★VPD!』バナー掲載についてをご覧ください。



Report

会の活動をご報告します。(2011年7月～10月)

第21回 日本外来小児科学会年次集会ブース出展

2011年8月27日(土)～28日(日)に兵庫県神戸市で開催されました日本外来小児科学会におきまして、患者会ブースの一角落に出展しました。ブースでは会の活動の紹介や会員募集を行いました。また、多くの会員の先生方が立ち寄ってください、会員間の情報交換の場になりました。

出演＆記事＆取材協力

2011.7
↓
2011.10

- 産経新聞(2011.07.13)
- 日本版Newsweek 2011年10月26日号(2011.10.19)
- 読売新聞(2011.09.10)
- 『祖父、ソフリエになる』メディカル出版(2011.09.13)
- 毎日新聞(2011.09.15/09.18)
- 『小児科の上手なかかり方がわかる本』講談社(2011.09.12)
- 中日新聞(2011.10.25)
- 携帯サイト「ママンティ」(2011.08.18)
- 東京新聞(2011.10.25)
- マイライフ手帳@ニュース(2011.07.07)
- 菜事日報(2011.07.11)
- 毎日jp(2011.07.09)
- 教育新聞(2011.07.28)
- MSN産経ニュース(2011.07.13)

「ワクチン手帳」が
各地紙面で
紹介されました

- 東奥日報
- 新潟日報
- 神奈川新聞
- 岐阜新聞
- 神戸新聞
- 高知新聞
- 佐賀新聞
- 沖縄タイムス
- 山形新聞
- 千葉日報
- 山梨新聞
- 福井新聞
- 中国新聞
- 宮崎日日新聞
- 南日本新聞
- 琉球新報
- 福島民報
- 埼玉新聞
- 中部経済新聞
- 京都新聞
- 徳島新聞
- 熊本日日新聞

- livedoorニュース(2011.07.07)
- gooニュース(2011.07.13)
- Yahoo!ニュース(2011.07.13)
- 週刊保健衛生ニュース(2011.08.01)
- じほうMRメールニュース(2011.07.06)
- チャリティ公演パンフレット
「伝統工芸の今」(2011.07.20)